

令和4年度 新潟市地域防災計画修正(案)

主な修正内容

- ① 地震被害想定の見直し
- ② 新たな浸水想定に基づく一部避難所の再評価

①地震被害想定の見直し

経緯

令和4年3月 新潟県が新たな知見を踏まえ、最新データを用いた地震被害想定調査の結果を公表

本市では、平成26年度実施の防災基礎調査から独自の被害想定を算出していたが、県がより精度が高い方法で被害想定を算出していることなどから、県が公表した調査結果のうち本市に係る部分を本市の新たな地震被害想定と位置付けることとした。これに基づき、市民啓発や各種防災対策等に取り組む。

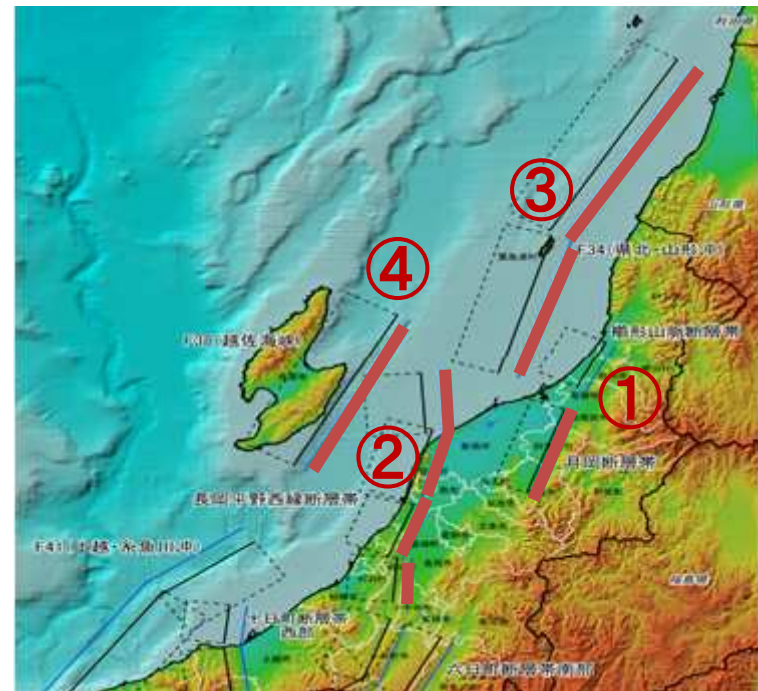
出典：新潟県地震被害想定調査結果報告書（R4.3 新潟県）

想定地震

- ①月岡断層帯
- ②長岡平野西縁断層帯 ※津波発生予想
- ③F34(県北・山形沖) ②③④有
- ④F38(越佐海峡)

被害予測

建物：最も被害が大きい場合、**128,000棟**以上全半壊・焼失
人的：最も多い場合、**22,000人**以上の死傷者数
避難者数：最も多い場合、避難所避難者数**約177,000人**
避難所外避難者数**約98,000人**
※いずれも最大となるのは想定地震②の場合



修正箇所

・本編 総則 第6節 「被害想定」を修正

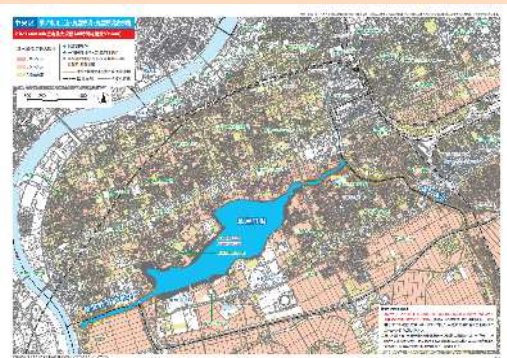
②新たな浸水想定に基づく避難所の再評価

新たな想定公表

令和4年3月 「通船川・栗ノ木川下流」、「栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路」、
「鷺ノ木大通・西大通川」、「矢川」 浸水想定最大規模に基づく浸水想定公表

ハザードマップの更新

旧(70~150年に1度の大雨)
→新(1,000年に1度の大雨)



避難所評価の見直し

旧



新



| 避難所 | 旧 | 新 |
|-------|-----------|-------------|
| 山潟小学校 | 全階可(浸水なし) | 2階以上(1階部浸水) |
| 山潟会館 | 全階可(浸水なし) | 2階以上(1階部浸水) |

修正箇所

・資料編 表2-1-17-2 「避難場所等の河川別避難可否」を修正